

市政について 問う!

第六回（九月）定例会では、十七人の議員が市政について質問しました。

一般質問



全ての質問項目
(通告一覧)はこちら

議員名	主な質問項目	掲載頁
梅沢 弘	住民福祉の増進、コロナ禍と生活困窮対策、本市長期財政試算	6
平野 謙	本市の生活保護制度	6
水口 淳	防災対策、戸別受信機全戸設置	7
尾藤 正弘	ゼロカーボンシティ、観光型Ma a S、特殊詐欺対策	7
霞 恵介	学校運営協議会、給食調理場	7
深田 昇	3密での密閉対策、母子保健事業、子育て支援センター	7
梶 泰久	避難行動につながる情報、コロナ禍の避難、地元運営の避難所	8
渡部一二実	マイナンバーカード対策、新型コロナをプラス転化	8
渡邊 博夫	教育大綱、幼児教育、学校教育、社会教育、令和2年7月豪雨	8
小澤 隆	公共工事の時期平準化、休日を見据えた工事期間	8
井原三千雄	市立病院の経営改善、災害対応の強化	9
片岡 章一	地域コミュニティ、子育て支援	9
小泉 宣子	高齢者施策、女性の視点での防災対策	9
長田 吉信	市営住宅の入居の取扱い、新生児への特別定額給付	9
山下富美子	中継中間処理施設、プラ容器とペットボトル、コロナ禍の財政	10
岡田 進一	介護施設の感染症対策、介護事業者への支援計画	10
川口 三男	公助を拡大した市政運営、鉄道高架の効果と根拠	10

※形式として質問形式を記載しています。

- 一括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式
 - 一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式
 - 複合：1回目は一括で行い、2回目以降から一問一答に切り替えて行う方式
- ※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。

ケースワーカーの配置数の状況と 扶養義務者調査の目的は

問 生活保護を担当するケースワーカーの配置数の状況は。

答 福祉事務所長／社会福祉法におけるケースワーカーの標準配置数が八十世帯につき一人であるのに対し、本市の配置数は九十四世帯につき一人となっているが、職員同士が相互にサポートする体制を取るなど、効果的な配置で業務を行っている。また、研修の受講や困難ケースを協議する会議の実施などにより、組織的な機能強化も図っている。今後適切な人員、人材を確保し、効果的な福祉サービスの提供に努めていく。

問 生活保護の開始等に当たり要保護者の親族に対し、経済的、精神的な支援の可否について照会を行う扶養義務者調査の目的と効果は。

答 福祉事務所長／扶養義務者調査は、生活保護制度の適正な実施を目的としており、また、要保護者に対する経済的支援に加え見守りや声かけなどの精神的支援を求めるなど双方の関係構築に寄与するものであると認識している。



▲対応等を協議するケース会議

平野 謙 形式 一問一答



コロナ禍における大規模事業の 見直しに対する考えは

問 コロナ禍による影響を踏まえ、大規模公共事業について、検討や見直しを実施する考えは。

答 企画部長／本市では総合計画をはじめとした各分野別の計画や各種事業について、コロナ禍等の危機事象による社会経済状況の変化や市民ニーズなどを的確に捉え、緊急度や優先度、事業効果などを検証しながら進捗を図っている。引き続き計画の策定及び事業の企画・立案・執行を図っていく。

問 鉄道高架事業を進めることで将来的な負担を与えるものと考えているが、

答 沼津駅周辺整備部長／鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業は、鉄道による南北市街地の分断などを抜本的に解決するとともに、鉄道跡地の活用により良好な居住空間の創出や民間投資の促進を図られる事業である。また、本事業により、本市全体の経済活動が活性化され、都市全体の価値が高まることから、本事業によるまちづくりを進めることは住民福祉の増進に寄与するものであると考えている。

梅沢 弘 形式 一問一答

